

29【P2】 I -383

甘減茶の生理活性と抗腫瘍効果

○長谷川 武夫¹, 具 然和¹, 鈴木 郁功², 小森 幹生³(¹鈴鹿医療大・院・画像情報,²鈴鹿医療大・院・栄養,³コモリ株式会社)

(目的) 我国も高齢化社会に突入し、生活習慣病や慢性疾患に関する関心が高まっている。本研究はお茶を主成分とするコモリ甘減茶に免疫能活性、抗酸化作用、放射線防護、抗腫瘍効果等が有るかを調べ、副作用のない健康食品としての有効性を検討した。

(方法) 甘減茶を50℃の蒸留水で抽出し凍結乾燥させた試薬をC3Hマウス(♂、6W: SCC-VII 腫瘍担癌)に400mg/kgを連日経口投与し、血球への影響、抗腫瘍効果、X線6Gy照射後の生存率から放射線防護効果を調べた。

(結果及び考察) 甘減茶抽出物を400mg/kg投与群は10時間の間一過性の白血球、リンパ球の増加が観測された。⁵¹Crを標識したEL-4細胞によるNK細胞活性測定では無投与群より1.5倍の活性が観測され、免疫能の活性が示唆された。またSCC-VII腫瘍を5×10⁵個/0.05ml大腿部皮下に移植し、甘減茶抽出物を14日間、400mg/kg経口投与すると投与群の腫瘍に成長遅延が観測され、抗腫瘍効果が観測された。また、400mg/kgの抽出物を経口投与5日目に6GyのX線を全身照射すると、無処理群に比べて、50%生存率は投与群が2日延長し、放射線防護効果が観測された。コモリ甘減茶は毒性が無く、免疫能活性、放射線防護効果があり、健康維持に有用と思われた。